二子山ハイキング　（2024/7/9）

服部記

今回のハイキングの目的地は、横瀬二子山。道の駅「あしがくぼ」から、秩父線の下のトンネルを抜けるとすぐ樹林帯にはいる夏向きのコースだ。
横瀬二子山は標高 882.8m（雄岳）と低山だが、雄岳の山頂からは武甲山が間近に迫り、秩父市街が見下ろせる。二子山の名が示す通り双耳峰の山で、雌岳と雄岳に分かれ両峰とも標高はほぼ同じ。北峰の雌岳に３等三角点が設置され、雄岳からの眺望は素晴らしいはずだった。

ポポーあるいはカリン

9:00 前、道の駅「あしがくぼ」に集合する。今回は 2 台の車、6 名のメンバーが集合した。駐車場では、ハイカーは駐車場の隅の方に停めるよう指摘を受けいったん止めた車を移動することになる。無料なので文句は言えない。

９：15 出発、秩父線のトンネルを抜け、沢沿いの道を歩き始める。樹林帯の中なので陽射しはないが、風がなく湿度が高く蒸し暑い。消耗する歩きだ。ただ時々やや水量を増した沢を渡渉し一瞬の涼気を得る。

9：55 沢から離れ尾根に向って登り始める。10:30 尾根に出る。風が渡るようになり、また気温も 24 度まで下がる。

メンバーの一人が寒暖計を持ってきた。ただ湿度は分からない。
次回は湿度計・寒暖計を持ってくるとのこと。

11：15 北峰の雌岳に至る。山頂直前には長いロープ場があり難儀する。奥武蔵・比企丘陵では最も長いそしてきついロープ場だ。筆者はこのロープ場は嫌いではない。

11：30 雄岳山頂に着く。期待した眺望はほとんどない。しかし樹の間から両神山や秩父二子山のシルエットがくっきり見える。また、武甲山が意外に近くに見える。頂上は風が渡り、寒いぐらい。そして、熱いコーヒーをいただいた。美味しい。

左に両神山、右端から 1/5 ほどにあるピークが秩父二子山。
両山とも滑落事故多い厳しい山だ。

武甲山

12：15 楽しい食事時間も終わりいざ下山。

14：15　丁度 ２時間で「あしがくぼ」に戻る。

今回のハイキングでは沢沿いの湿度の高い歩行にずい分消耗した。ただ、頂上での爽やかな風のもと温かいコーヒーの味が忘れられない。提供いただいた女性メンバーに感謝。筆者は久しぶりのハイキングで、今朝は太ももが痛い。やはり使わないと筋肉は退化するらしい。
次回は、８月、三頭山、日程はこれから確定。

以上